

350年の伝統・技術を守る陶工たち ～『陶芸の杜おおぼり二本松工房』～

【 福島県二本松市小沢工業団地地区 】

名 称 : 陶芸の杜おおぼり二本松工房
所 在 地 : 福島県二本松市小沢地内(小沢工業団地内)
種 別 : 仮設工場、事務所及び店舗
延床面積 : 719㎡
入 居 者 : 窯業組合(避難元:浪江町)
区 画 数 : 1区画
建物構造 : 軽量鉄骨造1階建て2棟
事業開始 : 平成23年9月5日
完 成 : 平成24年3月30日
供用開始 : 平成24年4月11日

福島県浪江町は、福島第一原子力発電所事故により、町全体が警戒区域及び計画的避難区域に設定され、町民が避難した。平成25年4月1日に帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域に見直された。

浪江町は、江戸時代から約350年続く町の伝統的工芸品である大堀相馬焼の伝統を守るため、中小機構に仮施設整備を要望した。

この仮施設は、大堀相馬焼協同組合が入居する「陶芸の杜おおぼり二本松工房」として組合員である窯元が一丸となって、伝統技術・技法の保護、保存に取り組んでいる。

また、定期的に陶芸教室を開催し広く大堀相馬焼の普及に努めるとともに、教室に参加する浪江町避難住民が創作活動をするなど集いの場となっている。

